

平成23年度確かな学力向上のための具体的取組 **評価**

大館市立成章小学校

## ねらい：確かな学力の向上を図る

「確かな学力」		平成23年度の評価指標と実践課題	学校評価 自己評価B
①知識・技能の習得	○		
②思考力・判断力・表現力の育成	○		
③学習意欲・学習習慣	○		
「確かな授業力」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の約束の徹底，自己評価の活用</li> <li>・話し方や聞き方，ノート指導</li> </ul>	() 昨年 3 (3)
④生徒指導の機能を生かした学習指導	○		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定着の時間の確保，パワーアップ週間（回復・補充指導）の実施</li> <li>・風の子テスト</li> <li>・各種調査のデータ分析と補充指導</li> </ul>	3 (3)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業や授業を見合う会の実施</li> <li>・情報提供と研究報告会の実施，校内研修会</li> <li>・共通実践事項の確認と実践</li> </ul>	3 (3)

共通実践事項	具体的な取組	達成状況	備考等(課題▲、成果○)
<b>1</b> 学力向上を目指した学校間の積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 9年間を見通した共通実践事項の設定と幼保との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月，11月を強調月間とした小・中授業交流会，及び小・中各種研究会への相互参加</li> <li>・ 幼・保との交流による1年生のパワーアップ</li> </ul> </li> <li>○ 大館市内及び北管内の各種研究会，先進校の研究会への参加奨励</li> </ul>	() 昨年 ○ (◎) ○ ○ (○)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 共通実践事項をシートにまとめ，確認したことで課題や実践事項やついて共通理解を図り，取り組むことができた。</li> <li>○ 幼・保との連携は情報交換のみならず，相互に保育や授業を参観し合ったり児童の交流活動の場を設けたりした。</li> <li>▲ 幼・保から中学校までの期間を考えた研修が必要</li> </ul>
<b>2</b> 「活用する力」を育てるための授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の考えを表現し，学び合う国語授業の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉を手がかりに読み取ったことから自分の考えをもたせ，表現させるための支援や手立ての工夫</li> <li>・ 学び合いや考えを深めさせるための支援や手立ての工夫</li> </ul> </li> <li>○ 学習のねらいやゴールが明確で，生徒指導の機能が生かされた学習指導の充実</li> <li>○ ふるさと・キャリア教育と関連付けた総合的な学習の展開</li> <li>○ 風の子テスト（漢字，計算）活用による基礎・基本の定着や諸検査の分析と結果に基づいた指導</li> <li>○ 学習内容の日常生活での活用を意識した指導</li> </ul>	◎ (◎) ◎ (◎) ○ ○ ◎ (◎) ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語科を中心に全校体制で研究に取り組めた。</li> <li>○ 話合いの手引きや話形等を作成し，学び合いの手立てとして活用できた。</li> <li>○ 研修報告会を開き，互いの研修内容を共通理解して授業改善に結びつけることができた。</li> <li>○ 諸検査の分析を生かし，全校体制で回復・補充指導にあたった。</li> <li>▲ 自分の考えや思いを表現する力や，それを交流したり，学び合いに生かす力がまだ不十分</li> </ul>

(● 重要な課題であると考えられる具体的な取組)